

のはら組便り

8月の様子

夏の暑さが続き中々公園に行けませんでした。室内で水遊びをしたり、斜面登りしたり、1階でのお散歩をしたりと楽しみました。鼻水が出ている子が多かった月でしたが、鼻水を出しながらも元気に過ごしていました。

お友達が1人増えて少しのはら組が賑やかになり、ちょっとずつ相手の存在を気にし始めて来ています。お友達の使っていたおもちゃを取ったり、マネしたり、7月になかった姿が増えてきました。

行事では、こもれびさんが一生懸命準備した夕涼み会に参加しました。甚平を着てお土産をもらい、いつもと違う事にきよんとしつつ楽しむお兄さんお姉さんをじっと見つめていました。少しでしたが、夏の楽しみが一つ体験出来て嬉しく思いました。

食事面では落ち着いて食事時間をとることが出来、意欲的に食べ物を手に取り口にしています。保育士の助けが少しずつ減っています。咀嚼も良く噛んでいました。(咀嚼は丈夫な顎作り、よく噛むことの大切さ、唾液の分泌を良くし、満腹中枢を刺激と色々な役目を果たしています。)

自分の力で食べる分落とす量も増えてしまいましたが「美味しいね。」と伝え、足りない分をお代わりで頂いています。ご家庭でも自分で食べてこぼす事に困られるかと思いますが、たくさん指先を使って遊べる様になり、1つの事への集中力が付けば、こぼす量は少しずつ減っていきますので、子ども達の成長の一つとして見守って頂けると嬉しいです。

午睡も寝る前に絵本を読む事が何度か出来ました。『だるまさんが』一番人気でした。笑ったり声を出したりと興味を持ったものにはとても見入っていました。

さて、水遊びも9月の半ばには終わりでしょう。夏ならではの遊びが終わりますが、水はとても子どもには身近なものになります。流れる水に触れて指一本一本に刺激を受ける、身体に水の冷たさを感じ身体に刺激を受ける、それは脳にも良い刺激がいきます。出来る限り水遊びを取り入れ、良い刺激をいっぱい感じて欲しいと思います。

9月のねらい

- ・秋を体感できる外遊びや散歩、食べたい意欲を育む給食などの環境により、に成長する。
- ・朝の会で童謡や手遊びに親しみ、お友達を意識する。
- ・マッサージで気持ち良く脱力をする。



9月の絵本・歌・手遊び

- ・しましまぐるぐる ・おやこでぎゅ ・だるまさんの
- ・とんぼ ・みずをたくさんくんできて ・どんぐりころころ
- ・ころころたまご ・ちょちょちあわわ ・一本橋こちょこちょ

